

# みつくら

平成30年 4月15日 第264号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お～い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 3月として観測史上最高気温

大瀬川に最も近い測候所は、気象庁仙台航空測候所花巻空港出張所であるが、3月28日の最高気温は22、1度と平年より12、3度も高く、3月としては観測史上最高気温を記録した。

この日県内では25ヶ所の地点でも観測史上最高気温となった。盛岡地方気象台は明治16年から観測されているが、記録が残っているのは昭和12年からなので観測史上とは昭和12年以降かも知れない。

## 大瀬川から石小に2名が新入学

石鳥谷小学校入学式は、4月6日に行われ、大瀬川からは7区の菅原仁（治郎助家）さんと8区の辻村大雅（久助家）さんの二人が入学された。

## 例年より1ヶ月早く越流

葛丸ダムの農業用水は、4月26日から放流を始めるがそれに合わせてダムの貯水量も満杯になって越流する。

その越流時期は例年4月中旬から下旬にかけてであった。ところが今年は大雪のため、3月9日に越流となった。

（この日は、折からの爆弾低気圧が大瀬川を襲い、大雨となって田中大排堰が崩落したり、金矢橋付近の薬師堂川法面が崩れたりした。）

越流の様子を見に行ったところ、流れて出る水紋は大きな銀杏の葉が隊列を組んで流れ降りてくる様であった。（今月のみつくらお知らせ版にカラーで記載）

山王海ダムの満水も同じく例年より早くなって、葛丸上流頭首工（割沢）から山王海ダムへの送水も、3月14日から止めている。

## 表 彰

花巻市雇用開発協会長表彰 熊谷真悠（8区善助電家）

## 美声が響く大瀬川婦人会総会

3月18日に平成29年度大瀬川婦人会通常総会が大瀬川振興センターで開催された。出席者は23名と報告があり開会。

次に市民憲章唱和と花巻市民の歌を斉唱された。続いて、菅原房子会長が「会員の協力を頂き29年度も無事に総会を開催でき、大変有り難う御座いました。議案を慎重に審議の上、30年のスタートを切らせていただきたいと思います。」と話された。来賓の大瀬川活性化会議熊谷秀夫会長から、「大瀬川婦人は活性化会議の各種の事業に特段のご協力を頂いております。特にも敬老祭では皆さんが居なければ出来ないとと言っても過言ではないくらい、重要な団体です。来年度も色々とお世話になりますますが宜しく、益々のご活躍を祈念いたします。」と祝辞があった。

議長には、菅原文子さん（茶畑電）が選出され、議案は29年度の事業報告と決算や30年度の会費の件、30年度の事業計画案と予算案、役員改選などが協議され原案通りに承認された。29年度の事業の中には議会の傍聴や豪華寝台列車「四季島」お出迎えや市婦協の映画「母と暮らせば」の前売券を51枚販売したことなどの報告もあった。閉会の前には大瀬川讃歌斉唱もあり約1時間の総会を終わった。

男中心の総会では懇親会があるのが普通と思っていたが、欠席した会員にもお菓子や飲み物を配るなど『心くばり』の有る総会と感じた。

## 7区でも「元気でまっせ体操」

7区でも1月26日から市の指導を得て毎週木曜日に行う「元気でまっせ体操」が始まった。初回は16名が参加し、映像に合わせて身体を動かした。この体操をするために新たに「くずまる元気クラブ」を立ち上げ、その構成団体は7区自治公民館、大瀬川高齢者クラブ、くずまるの花で、特に規約や役員を持たず、菅原敬子さんが「ふれこど」をしている。

これまでに9区は平成27年6月、8区は平成30年1月9日から始めているので、大瀬川全体で取り組んだ事になる。

## 板垣さん達が戦没者顕彰誌発行

岩手日日新聞によると、板垣邦博さん達の石鳥谷地区遺族会（高橋周作会長）が1月25日に好地地区戦没者顕彰誌を発行した。

この顕彰誌には、かって畑部落の戦没者も詳しく記録されていて大瀬川としても貴重な資料となったもの。また、大瀬川地区の「英霊銘々碑建設記念誌」と体裁が似ているので、大瀬川としても幾許（いくばく）かの寄与が出来たのではないかと思われる。

## 八区の4団体が合同総会を開催

3月25日に第八区の自治公民館と自治会と自主防災会そして、最後に農家組合が30分間隔で総会を開催した。当日は曇り時々晴れで気温も12度位に上る中、大瀬川振興

センターに45名が出席して行なわれた。議長には昨年もスムーズに進行した熊谷恭一さんが選出されて4団体の議事を進行した。

このうち第八区自治会は、他の区には無い公葬地の駐車場用地と慰霊碑の用地の資産を管理する為に平成22年に設立された。その中には大瀬川公葬地管理運営委員会があり、各区の代表者で管理している。

最後の農家組合総会では、農家の収入に直結する議案の為質問や意見が出され、意見付で承認される議案もあった。全総会終了後は懇親会が行なわれ、情報交換や今年の農作業の話して盛り上がった。

## 元気に入学・卒業おめでとう大会

大瀬川子供育成会主催の「入学・卒業おめでとう大会」は、3月18日に児童や父兄など38名が出席して開かれた。菅原千春会長は「卒業されますお二人は、6年間勉強や運動に頑張られ、今度は中学生になられます。これからも励んで下さい。また大瀬川から新1年生は同じく2名です。お友達をたくさん作って楽しく過ごして下さい」とお祝いを述べられた。

入学、卒業者にはそれぞれ菅原会長から記念品が贈られ、菅原英海（はなの・清五郎電家）さんは「卒業される方々は、私たち皆を引っ張って下さり有り難うございました」と言葉を贈られた。春の旅立ちに、清々しさが感じられた。

## 生産森林、分収造林が総会

大瀬川生産森林組合と大瀬川分収造林組合（いずれも菅原清昇組合長）の総会が、2月18日に大瀬川構造改善センターで25名（委任状を除く）が出席して、相次いで開かれた。

両組合とも役員は共通していて、菅原組合長は「29年度は、役員を対象に初めて森林経営計画制度について大瀬川振興センターで研修会を開いた」と挨拶された。

当局から「講師は小川建雄県南広域振興局林業振興課長と北村慎子同上席林業普及指導員で、国からの補助金制度について詳しく知る事が出来た」と事業報告があった。

何れの総会も菅原謙悦議長、議事録署名人に菅原孝作さんと菅原銀一さんの下で行われ、満場一致で各議案が可決された。

## NHK「サラメシ」に畠山さん

3月20日放送のNHKテレビ「サラメシ」に、岐阜県の渡辺酒造店に出稼ぎ中の畠山英男（海田家）さんが映し出された。（番組名のサラメシとはサラリーマンの昼食の略称で、様々な職種の働く人のお昼ご飯を取り上げている。）畠山さんは麴師で、麴室で麴菌を均一に混ぜる「床揉み（とこもみ）」や、麴を麴箱に盛っている場面の後に、岡田喜栄治杜氏達20人位で食事をしているところなどが映し出された。

# みつくら

平成30年 4月15日 第264号  
 発行 大瀬川活性化会議  
 編集 「みつくら」編集委員会  
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2  
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

## 平和の尊さを胸に刻む戦没者慰霊祭

4月3日に大瀬川戦没者慰霊祭実行委員会（藤原利博委員長）が日清・日露戦争や第2次世界大戦で戦死した地区出身者54名の慰霊祭を公葬地の慰霊碑前で行なった。これに先立ち朝5時45分ごろから慰霊碑周辺の清掃を21名が出て行なった。この冬は雪が多くて駐車場の端にはまだ雪が残っていたが慰霊碑廻りの枯れ葉や道路の清掃作業を行なった。

この慰霊祭は明治30年から神武天皇祭として始まり平成14年の慰霊祭と改称して122回目となる。午後2時から慰霊碑前で遺族や実行委員25名が参列して熊野神社の菊池宏宮司の祝詞のもと、藤原実行委員長や菅原善幸石鳥谷支所長らが玉串を奉げた。藤原委員長は「戦後72年がたち戦争体験者が少なくなっている中、地区民の戦死者への畏敬の念で一世以上にとり続けることが出来る。今後も継続して行きたい」と話した。

会場を振興センターに移して平成29年度の総会が行なわれ、議長に板垣弘清さん（公葬地管理運営委員長）を選出して平成29年度の事業報告と収支決算や、平成30年度の事業計画案と収支予算案が原案通りに承認された。この委員会の総会は2年に1度で役員改選の年に行なわれている。

戦没者慰霊祭は遺族や関係者だけの行事ではなく、二度と同じ過ちを繰り返さない為にも、大瀬川地区にとって大切な恒例行事である。

## 約14万円の予算を決めた育成会総会

大瀬川地区子供育成会の総会は、3月25日に15名（委任状を除く）が出席し、大瀬川振興センターで行われた。菅原千春会長は「皆さんの協力を得て、今年度の事業を計画通り行う事ができました。有り難うございます」と挨拶された。議長には熊谷信人さん、議事録署名人には菅原久美子さん、畠山牧子さんを選出し、総額13万9千円の事業計画を決めた。

主な事業は花植え、PTA地区懇談会、クリーン作戦、ラジオ体操会、親子卓球大会、入学・卒業おめでとう大会、自転車教室など多岐にわたって子供の育成に努める。

## 人 事 （敬称略）

たろし滝測定保存会  
 会長 板垣寛(再) 副会長 菅原黎治(再) 熊谷幸夫(再)  
 監事 菅原教雄(再) 板垣公(新) 高橋仁吉(再)  
 7区行政區長 辻村睦(新)  
 8区行政區長 菅原昇(新)  
 9区行政區長 熊谷惇(新)  
 8区農家組合長 板垣幸夫(新) 副組合長 菅原銀一(新)  
 9区農家組合長 畠山 正(新) 副組合長 山形廣行(新)  
 あじさいの会 会長 菅原美津子(再)  
 副会長 板垣禮子(新) 畠山喜代子(新)  
 大瀬川高齢者クラブ 会長 菅原謙悦(前会長の残任期)  
 大瀬川婦人会 会長 菅原房子(再)  
 副会長 細川文字(新) 菅原秀子(新)  
 8区長 熊谷浪子(再)、9区長 藤原咲子(再)  
 大瀬川子供育成会 会長 玉山敦(新) 副会長 畠山拓(新)  
 監事 菅原久美子(新) 高橋和佳子(新)  
 7区自治公民館 館長 畠山勝則(新)  
 8区自治公民館 館長 熊谷賢良(再) 副館長 菅原靖夫(新)  
 8区自治会 会長 熊谷賢良(再) 副会長 菅原靖夫(新)  
 8区自主防災会 会長 熊谷賢良(再)  
 副会長 菅原昇(新) 板垣幸夫(新)  
 9区自主防災会 会長 熊谷 惇(新)  
 副会長 高橋昭一(再) 畠山 正(新)  
 大瀬川合同年祝い実行委員会  
 委員長 藤原美輝(新) 副委員長 藤原 誠(新)  
 大瀬川戦没者慰霊祭実行委員会  
 委員長 藤原利博(再)  
 副委員長 菅原清昇(再) 菅原純一(再)

## 板垣さんが写真展

板垣弘清さんは、3月25日から4月13日まで好地の「お休み処」で写真展を開いた。夏泊半島で撮った「半島のたそがれ」は、暗く表した海岸に黄金色の夕日が、雲と海に反映した姿は目を惹き付けられた。また「渾水に一の滝」は、滝の正面にある「大松岩」の上から撮影したもので、末広がり状に表した「渾水」は、普段見慣れている滝とは違った姿を写し出している。

写真は全部で9点が展示され、岩手芸術祭賞や、二科展入賞作品なども含まれていた。

## 辻村さんに白鳥が「お別れの挨拶」

小屋場家の水田に、毎日数十羽の白鳥が来ていたが、3月16日には突如200羽以上の大群の白鳥が舞い降りて、眺めて

いた辻村まさ子さんに「北帰行の挨拶」をしたと言う。その姿は、大群の白鳥が辻村さんに向かって一斉に上に首を伸ばし、「明日、帰りますよ！辻村さんもお元気で・・クワッ、クワッ、クワッ」と聞こえたという。それからというもの、一羽の白鳥も姿を現さなくなった。

## 訃 報

3月18日に、堰合の菅原清司(せいし)さんは72歳で亡くなりました。菅原さんは、県立花巻農業高校を卒業後、約40年近くも盛岡生花卸売市場に勤務していました。菅原さんは「花は、冷蔵技術がよくなった今でも野菜や魚より価格の上下が激しく、一晩で半値や廃棄もあり難しい商品だ。そのため、季節や行事などがあると夜中から出る時もある」と話していたことを思い出します。また、地域でも花の栽培が多くなってからは、花を預かり市場のセリに出し好評を得ていました。

仕事柄朝の早いなか、山王海土地改良区総代や山祇神社副総代など地域に貢献されました菅原さんに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 事務局 お気軽にお入り下さい

3月20日に熊谷律夫さんと二人で「夜の図書館(オガール)」を訪れた。紫波町図書館が閉館後の夜7時半から再び開館し、座談会方式の講演会であった。講師は元岩手めんこいテレビのアナウンサーで、現在「FM花巻」放送局長の落合昭彦さん。テーマは「伝えることと伝わること」で50名が参加し、聴講や語り合いをした。出席して「身につまされた」のは「みつくらは大瀬川の方々には伝わってるだろうか」との思いであった。

伝える事は容易い(たやすい)が、伝わる事の難しさを学んだひと時でもあった。自戒したい(菅)。

この大瀬川地区を主要地方道盛岡和賀線(県道13号)が1、7Kmに渡って通っているが、特に大型車の通行が多いと感じている人もいるかと思い、花巻土木センターへ問い合わせたところ、平成27年度の調査では24時間に上下で11、566台通行していると返事を頂いた。とりわけ、大型車の比率は他の県道よりも多いようだと言った。

また、盛岡から和賀町藤根の間には、コンビニを除くとトイレのある駐車場は、この大瀬川振興センターの駐車場だけらしい。昨年度の県議会でも休憩施設(道の駅風?)の件を取り上げている。噂によれば笹間地区の案があるが、大瀬川で先般行ったワークショップの中でも、同駐車場の有効利用による地域の活性化の話題が出ていた事を思い出した。

みつくら編集局では、「こんなことを取り上げてほしい」など、地域の話や お知らせしたいことを 常時募集しています。お気軽にお寄せください。